

橋  
橋  
邊  
邊

# 異体字に注意

「意味・発音は同じだが、互いに字体を異にする漢字」  
(明鏡国語辞典)



人名に異体字が使われていることがよくあるので、名刺の作成時には特に注意が必要。

角  
異体字  
角



※真ん中の縦線が下に突き抜けている

恵  
異体字  
恵



※上が「恵」になっている

斉  
異体字  
齊

斎  
異体字  
齋

※斉と斎は元々は意味の違う漢字で、  
斉は「ととのう、ひとしい」を表し、斎は「心身をきよめる」こと。

徳  
異体字  
德



※右側の真ん中に「一」が入っている

隆  
異体字  
隆



吉  
異体字  
吉



出典：www.yoshinoya.com/

(つちよし)

崎  
異体字  
崎



(たつさき)

高  
異体字  
高

(はしごたか)



## まだまだあります 異体字

船  
異体字  
舩

曾  
異体字  
曾

藪  
異体字  
藪

桑  
異体字  
桑

蔵  
異体字  
藏

野  
異体字  
埜

柳  
異体字  
柳

松  
異体字  
栢

鉄  
異体字  
鐵

鉄  
異体字  
鐵

富  
異体字  
富

橋  
異体字  
橋

土  
異体字  
土

土  
異体字  
土

淵  
異体字  
淵

淵  
異体字  
淵

濱  
異体字  
濱

## 十月歳時記 二十四節気 七十二候

●8日(月) 寒露 野草に冷たい露がつく頃

●23日(火) 霜降 露が凍って霜が降りる頃

【鴻雁来】「こうがん、きたる」…………… 燕が南に帰り、雁が北から渡ってくる  
【菊花開】「きくのはな、ひらく」…………… 菊の花が咲き始める  
【蟋蟀在戸】「きりぎりす、とにあり」… コオロギのことを古くはキリギリスと言った

【霜始降】「しも、はじめてふる」… 昔は、霜は降ってくるものと思われていた  
【雲時施】「こさめ、ときどきふる」…………… 通り雨が多くなる時期  
【楓薦黄】「もみじ、つた、きばむ」…………… 赤くなるのは紅葉、黄色くなるのは黄葉

